

令和6年9月26日
最上総合支庁

報道関係者各位

「令和6年度災害時の栄養・食生活支援に関する研修会」の開催について

災害時の栄養・食生活支援活動は、被災者の栄養状態や慢性疾患の悪化を最小限にとどめるだけでなく、被災者の心の安定をもたらし、被災者が自分自身や家族の生活の復旧・復興への意欲を高め、より早く平常時の生活に戻るために非常に重要です。

最上総合支庁（最上保健所）では、災害時の栄養・食生活支援活動の必要性について理解を深め、災害時に行政栄養士等がどのような対応すべきか、その判断を迅速に行う能力形成を目的に「令和6年度災害時の栄養・食生活支援活動に関する研修会」を下記のとおり開催します。

つきましては、ぜひ、取材いただき、県民の皆様に対する周知について御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時** 令和6年10月2日（水）午後1時～午後4時
- 2 場所** 最上総合支庁 202 会議室（新庄市金沢字大道上 2034）
- 3 対象者** 村山及び最上地域の防災担当者及び栄養・食生活支援を担当する行政栄養士、保健師等
- 4 内容**
 - （1）講演「災害時の栄養・食生活支援活動について～早期活動の重要性～」
 - （2）グループワーク「災害時の栄養・食生活支援活動について考えよう」
講師 女子栄養大学 准教授 久保 彰子氏
※講師は zoom で参加
- 5 その他** 本事業は、村山総合支庁（村山保健所）との共催です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問合せ先

担当 保健福祉環境部 地域健康福祉課
健康増進専門員 菅原 電話 0233-29-1267
報道監 総務企画部長 佐藤